

政策	2章 政策1	健康で健全に暮らす環境をつくる			
主管課	健康推進課	関係課	観光・スポーツ振興課、市民生活環境課、国民健康保険課、市民課		

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
市民	市民が心身ともに健康で、誰もが生き生きと地域で暮らせるよう、健康への関心を高め、ライフステージに応じた健康増進を推進します。 特定健診やがん検診の受診率向上と、個々の健康状態にあわせた効果的な保健指導を行い、医療の適切な受診を促進します。加えて保険税徴収・保険給付の適正な実施により、国民健康保険事業の安定的な運営を図ります。 また、国民年金保険料の納付勧奨を行い、無年金者の発生防止として、免除申請等国民年金制度の周知・普及を行います。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	人口	人	見込値									63,241
			実績値		61,646	62,099	62,270	62,185	62,590	62,406	62,255	
②	国民健康保険加入世帯数	世帯	見込値						9,522	9,522	9,522	9,522
			実績値		9,349	9,313	9,481	9,522	9,432	9,379		
③			見込値									
			実績値									

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画	特定健診受診率（40～50代）	％	目標値					20.0	22.0	24.0	28.3
				見込値					22.0	24.0	26.0	28.3
				実績値	26.3	24.5	18.8	20.08	23.10	25.1		
B	総合計画	国民健康保険税収納率（一般被保険者現年度分）	％	目標値					94.40	94.40	94.40	94.40
				見込値					94.40	94.40	94.40	94.40
				実績値	93.38	93.41	93.66	95.95	94.87	96.23		
C	総合計画	国民年金納付率（現年度分）	％	目標値					55.0	55.0	55.0	55.0
				見込値					66.6	66.6	66.6	66.6
				実績値	50.4	53.0	58.0	66.6	70.2	70.3		
D				目標値								
				見込値								
				実績値								
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト		事業費	千円					1,616,862	7,097,479	6,986,450	0	0
		国・県支出金	千円					595,016	327,260	189,499		
		地方債	千円					0	0	0		
		その他	千円					6,778	27,735	1,251		
		一般財源	千円					1,015,068	6,742,484	6,795,700		
施策に係る事務												
事業の合計額												

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画	特定健診受診率（40～50代）
	設定理由	市民の健康意識を図る観点から、健診受診率を把握する。本市においては特に働き世代の40～50代の特定健診受診率が低いことからこの指標を設定する。(KDB:国保データベースシステム)
	目標値	平成30年度実績の2％増を目指す。(令和12年度は平成30年度実績の7％増を目指す。)
	見込値	令和4年度は、法改正(社会保険の加入条件変更)に伴い国保から社保への加入者移行により健診対象者が減少したことにより、受診率が向上した。しかしながら、健診対象者減少の影響を加味しても受診率が21.9％程度あり、新型コロナの影響を受け落ち込んだ受診率は回復傾向にある。今後は、対象世代(40～50代)へのアプローチ強化等により、目標達成を目指す。
B	総合計画	国民健康保険税収納率（一般被保険者現年度分）
	設定理由	国民健康保険事業の安定運営に向けて、収納率を把握する。(国民健康保険課資料)
	目標値	特別調整交付金のインセンティブを確保できる収納率の水準を目指す。
	見込値	令和4年度の実績値の水準が令和7年度まで続くと見込む。
C	総合計画	国民年金納付率（現年度分）
	設定理由	国民年金制度の適正実施に向けた周知の結果として納付率を把握する。(国民年金統計情報)
	目標値	市民課年金窓口での免除申請・納付勧奨を強化しながら、今後も基本計画策定時の設定値を維持する。
	見込値	令和3年度実績値を踏まえ、同様の水準が令和4年度以降も続くと見込む。
D		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・令和6年度に「健康いとまん21」（健康増進計画及び食育推進計画）を策定した。
・令和6年度に「いのち支える糸満市自殺対策計画」を策定した。
・令和6年度から新型コロナワクチンが定期接種化された。
・HPVワクチンのキャッチアップ期間が令和7年度まで1年間延長された。（条件付き）
・令和7年度から带状疱疹ワクチン接種が定期接種化予定。
・令和6年12月から、これまでの保険証制度が廃止となりマイナ保険証を基本とする制度に移行した。これに伴い、短期被保険者証廃止による国民健康保険税滞納者との納税交渉の機会減少。
・団塊の世代の後期高齢者医療保険制度への移行、被用者保険の適用拡大や少子化に伴う国民健康保険被保険者数の減少。

(6) 関係者の意見・要望

・議会や市民から、若年がん患者等への支援に関する要望がある。
・市民から、新たな軽スポーツ普及の要望がある。
・市民から、健康づくりへのインセンティブ（健康ポイント事業）について好評価を得ている。
・食生活改善推進協議会から、活動助成金の要請がある。
・特定健診の集団健診の受託先から、エアコンのない施設、受診者の少ない地区等での集団健診の廃止要望がある。
・高額療養費支給の迅速化。

2. 政策の実績評価

(1) 令和7年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標A	総合計画	【 特定健診受診率（40～50代）】					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由	コロナ禍で落ち込んだ受診率を回復させるには、相当の周知期間が必要である。対象者が働き世代であることから、平日の集団健診への受診が難しい。また、40代から50代の健康で日ごろ病院受診をしない人は、健診への意識が低いことも要因の一つとして考えられる。次年度は、広報紙やLINE、ショートメールなど多様な広報手段を活用して特定健診の周知広報に取り組み、もって目標達成を目指す。						
指標B	総合計画	【 国民健康保険税収納率（一般被保険者現年度分）】					
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由	令和5年度は96.23%だった。今後も同程度の収納率は維持できると考えられるため、現在の計画、取り組みにより目標達成を見込む。						
指標C	総合計画	【 国民年金納付率（現年度分）】					
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由	・国がマイナンバー取得に伴う免除申請の勧奨を行ったことから、令和3年度に納付率が急上昇し、令和4年度の納付率の向上につながった。 ・国民年金納付の必要性を伝えるため、窓口をはじめホームページ・広報紙・シルバー人材センター等を活用した周知活動に引き続き取り組むことで目標達成を見込む。						
指標D		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標E		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標F		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標G		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標H		【					
	<input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	<input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり		<input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難			
理由							
指標の数	3指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	2指標 (66.7%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	1指標 (33.3%)	うち現在の想定では目標達成が困難	0指標 (0.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果がどちらかと言えば向上した	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	・「特定健診受診率(40～50代)」が向上した。 ・新たな取り組みとして、AIを活用した受診勧奨の対象を未受診者中心からコロナ禍で受診を控えていたと考えられる人へ比重を大きくした。 ・国保税の現年度課税分を中心とした催告及び債権差押の強化、口座振替推進の強化、国民健康保険資格喪失者への調査による課税の適正化を図った。 ・年金保険料納付率は、他府県との差が縮まっておりこれまでのような伸び率は期待できない。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてほぼ同水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	・特定健診受診率（全体）について、令和5年度実績が11市中6位となっているが、受診数値としては1.5%の増となっている。 ・県内において、一人当たりの医療費は高い水準にある。 ・各種取り組みにより、国保税の現年度課税分の収納率が前年度比1.4%の増となった。 ・年金保険料納付率は、本市と同様に県内他市も向上している。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和6年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・がん患者のがん治療に伴う心理的負担や経済的負担を軽減することを目的に、令和5年度から「がんアピランスケア支援事業」を実施している。
・令和6年度から骨髄移植ドナー助成事業を実施したが、実績はない。
・特定健診の受診率について、コロナ禍前の受診率まで回復していないが、令和5年度は前年度を上回っている。これは、健診受診率向上事業におけるAIを活用した勧奨通知の対象者の設定について、未受診者中心からコロナ禍の影響で受診を控えていたと考えられる人に絞ったことによるもので、今後も、AIを活用した勧奨通知（コール・リコールの2回勧奨）を継続する。また、令和6年度は初めてSNSでのメッセージ勧奨も行った。
・令和5年度に引き続き「生活習慣重症化予防事業（県事業）」を活用した、AIによる未治療者へのアプローチを行っている。（令和6年度で終了）
・「健康いとまん21」（第3次健康増進計画と第2次食育計画）を策定した。
・精神保健分野では、「いのち支える糸満市自殺対策計画」を策定し全庁で取り組む体制を整備した。
・スポーツ推進委員の協力により、ライフステージに応じた多様な運動・スポーツの機会の提供に取り組んだ。
・地域巡回スポーツ教室の在り方改善に努め、情報を積極的に発信し、市民の健康体力づくりに取り組んだ。
・各種スポーツ教室において、参加者に特定健診やがん検診に関するパンフレット等を配布し、健康意識の向上を図った。
・福祉活動をはじめ、多様な地域活動の拠点となる公民館等施設整備や公民館等建設に対する補助額を増加させた。また、公民館等の施設の大規模修繕に対する補助メニューを新設した。
・国保税の収納率について、前年同月比（令和6年11月末）で0.4%の減少傾向。
・国保税の現年度課税を中心に催告及び滞納処分を実施している。

(2) 令和6年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・令和7年度から特定健診受診券の単独発送が保険証とは別になることから、病院受診の際に忘れてしまい受診率に影響することが懸念される。
・特定健診の集団健診回数を増加させることは、受託者の人員確保等に課題があり困難となっている。
・県内において1人当たりの医療費が高い理由として、外来受診率は低いものの入院医療費が高いことから、重症化予防の必要性が高いと考えられる。併せて、県内において肥満率が高いことから、生活習慣病の早期発見対策も課題。
・令和5年度に養成講座において育成した新規食生活改善推進員の育成に引き続き取り組む必要がある。また、策定した「健康いとまん21」に基づき、同推進員に協力いただく活動や組織に対する支援の在り方について、当事者と協議する必要がある。
・スポーツ実施率の向上が課題であり、取り組みやすいスポーツ・運動機会の提供やきっかけづくりが必要である。
・各種スポーツ教室で使用するスポーツ用品（道具）が少ない。
・少子高齢化の進展や生活スタイルの多様化等により自治会会員が減少し、地域活動への支障や地域ネットワークからの孤立が危惧される。
・令和6年12月以降の国民健康保険被保険者証廃止に伴い、短期被保険者証も廃止となったため滞納者との納税交渉の機会の減少が想定される。

(3) 令和7年度取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・特定健診受診率向上に向けて、コール・リコール（令和6年度に受診した不定期受診者、初受診者へのリピーター受診勧奨強化）のほか、未受診者、新規国保加入者へのアプローチの強化（電話勧奨の実施）、若年層を意識したアプローチの強化（SMS勧奨など）に取り組む。
・集団健診予約の負担軽減を図るため、令和7年度からログフォームを活用した予約システムを導入する。
・特定健診受診券の単独発送を行う。
・集団健診回数の増加が見込めないことから、個別健診の受診率向上に向けた取り組みを検討する。
・入院医療費対策として、健診受診者一人一人にアプローチすることで重症化予防に取り組む。
・県内でも肥満率が高いことから、食生活にアプローチした生活習慣病の対策を行う。併せて、子どもの肥満対策も関係機関と連携して行う。
・若年がん患者が住み慣れた自宅で自分らしく安心して療養生活を送れるよう、介護サービス等を利用する際にその費用の一部を助成する事業を実施する。
・「自殺対策計画」に基づき、ゲートキーパー養成講座を開催し支援の輪を広げる。
・スポーツ推進員を講師として派遣する地域巡回スポーツを実施する。子ども向けの運動遊びから、高齢者向けの体操まで様々なプログラムを用意し、ライフステージに合わせた運動の機会を提供する。
・スポーツ教室の機会を利用して、参加者に特定健診やがん検診に関するパンフレットを配布し、健康診断の受診を促すことで地域の健康増進に取り組む。
・市民が支え合う地域づくりに向け、自治会アンケートの継続（令和5年度から）及び他市町村を参考に自治会活動の手引きを作成する。
・国保税の現年度課税分の徴収を強化する。
・国保税の口座振替を推進する。